

第13回近畿女性バスケットボール交歓大会 サブスコア

一般の部(1位推薦) 予選リーグ Aブロック							場 所	加古川市立総合体育館										
コート		Aコート 第3試合 12:45					日 時	平成24年8月25日(土)										
JOYO CLUB (大阪) 43 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="padding: 0 10px;">7</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">10</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">7</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">8</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">23</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">8</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">6</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">14</td></tr> </table> 40 MARS (京都)							7	-	10	7	-	8	23	-	8	6	-	14
7	-	10																
7	-	8																
23	-	8																
6	-	14																
氏 名	No	得点	3P	2P	自投	反則	氏 名	No	得点	3P	2P	自投	反則					
吉村 妙華	6	6		3		1	林 綾											
櫻間 紗季	10						松浦 祐子	5	17	5	1		1					
松田 和子	12						杉浦 裕子	6	3	1			3					
岩崎 由美	14	16	4	1	2	2	湯浅 美貴	7										
横田 正美	15						樋口 奈加子	8	1			1	1					
大谷 笑美		2		1		1	宮川 広実	10										
徳谷 道江	20						田中 明美	11	14		6	2	1					
糠野 貴栄	21	2		1		1	蓮池 美香	12										
中井 奈美	22	14	2	4		2	宮本 久美	14	5	1	1		1					
林田 裕子	24						松田 明	15										
児玉 早苗	25	3	1			1	林 正子	16										
							植村 美子	17					1					
松田 和子	コーチ						田中 健	コーチ										
横田 正美	Aコート						渡辺 朋彦	Aコート										
合 計		43	7	10	2	8	合 計		40	7	8	3	8					
主 審	菅野 孝二						副 審	内田 祥平										

〔戦評〕

第1ピリオド:JOYO CLUBは#14の3Pシュートからスタートをするが、MARSはゾーンで中を固めていた為、ゴールに近づけず、攻めあぐんでいた。MARSは序盤、ゴール下のシュートを外すが、#6杉浦がボールコントロールをして、パスを展開しながら、#5松浦が3Pシュートを決め、得点を重ねた。

第2ピリオドMARS #5松浦の3Pシュートが連続2本決まり、#6杉浦のスピードを活かしたプレーで、攻撃のリズムは崩れない。JOYO CLUBは我慢の時間が続くが、MARS #11田中への粘りのディフェンスで少しずつミス誘い、得点へ繋げていった。終盤、MARSのゾーンに対し、飛び込んでパスを繋げ得点を重ね、リズムを掴んで前半を良い形で折り返す。

第3ピリオド:MARS #11田中、#5松浦への厳しいディフェンスで、パスが回らずシュートまで至らない。リズムを完全に崩してしまい足が止まってしまった。JOYO CLUBは前半の勢いから良い形でディフェンスとルーズを粘り、ボール保持時間を増やしていった。丁寧なパス回しからフリーを作り、外からのシュートを決めていき、残り4分で逆転に成功する。

第4ピリオド:MARS #11田中、#5松浦へのマークが厳しく、ボールを持たせてもらえない。#6杉浦が速攻を出すが続かず、苦しい時間が続く。それでも意地を見せ1点差へと詰め寄る。JOYO CLUBはMARSの厳しいディフェンスでミスが続くが、残り1秒で#14岩崎がフリースローを2本決め勝利した。